

パブリックコメントの回答について

「学校給食費の改定について」のパブリックコメント募集手続きについては、令和3年9月20日から令和3年11月5日まで意見募集し、5名から5件の意見が提出されました。いただいた意見と市の考え方は以下のとおりです。

	いただいた意見の要旨	市の考え方
1	様々な家庭の事情があることを考えて欲しい。 迷惑である。	各ご家庭には様々な事情がおりのことと拝察いたしますが、学校給食の質を維持するためのやむを得ない値上げであることをご理解いただければと存じます。
2	多治見市の給食費は全国的にみてかなり高い。 給食ではなく、お弁当という選択肢を各家庭に与えるべき。給食が教育の一環との見方もあるが、全国的に中学になると給食がなくなりお弁当という地域も多くあり、教育に差し障りがあるというわけではない。子どもや家庭に配慮した決定をして欲しい。	今回の給食費改定については、近隣他市の給食費と比較した上で改定額を決定しています。多治見市は、学校の授業だけでなく、給食も大切な教育の一環であると捉えています。子どもたちが給食を通じて、自分に必要な食を選び取る力をつけ、将来健全な食生活を実践できる大人になってもらいたい、と考えています。
3	値上げには同意。給食を食べている子どもが「給食が不味くなった」と言っているので、質の向上もお願いしたい。	児童・生徒のみなさんに「おいしい」と喜んでいただける給食の質を維持するよう、努めてまいります。
4	値上げには反対。	学校給食の質を維持するためのやむを得ない値上げであることをご理解いただければと存じます。
5	10年間値段が変わっていないことに驚いた。値上がりはやむを得ないと思う。子どもが喜ぶ給食を提供して欲しい。	10年間食材や献立に様々な工夫をして給食を提供してきました。今後もより安心安全でおいしい給食を提供できるよう、努めてまいります。